

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [札幌市立札幌大通高等学校] 担当教諭名 [杉山 譲司・佐藤 千恵子] (異文化理解講座60名)
 交流相手国 [メキシコ]
 海外学校名 [PTC Santa Catarina] 担当教諭名 [Marce Trevino / Catalina Silveyra]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語科・異文化理解	「アート・マイル・プロジェクト」	24

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	The common national events in both countries
絵に込めたメッセージ	日墨に共通の祝日・伝統的な行事(新年、母の日、お盆＝死者の日)をお互いに調べ、共通点と相違点があるところにそれぞれの文化による視点の違いを感じ取ってほしい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
民族の違いを越えて、行事、お祭り、祝いごとなどの共通する事象があることの発見と、同じように見えて、その中身を掘り下げたとき、やはり民族による、視点の異なりということも、生徒が感じ取れることができたこと。	協同で学習するテーマについての交流が、昨年度と比べると一方向的になった場面が少なからずあった。祝日等への質疑応答のやりとりをもっと活発に行いたかった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
保護者や地域の方、他校にも開かれた「プレゼンテーション大会」という行事で、ポスターセッションという形で本プロジェクトの紹介ができた。	活動内容への理解が深まり、来年度以降も「異文化理解」を履修する生徒への、動機付けの一端となった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	8～9月	事前学習 ・メキシコの基礎情報調べ ・JICA の講師による出前講座(中米について)	出前講座では異文化疑似体験ゲームなども行っていただき、これから交流をする際の心構えが持てたようである。	異文化理解
情報収集	9～10月	フォーラムを利用した自己紹介活動、自分化(学校、札幌、北海道)紹介。 メキシコの祝日、伝統行事調べ。	日墨で共通する祝日、伝統行事がたくさんあることと、祝い方の違いに民族・文化の違いを感じることができた。	異文化理解
テーマ検討	11月	フォーラムでの交流のなかから、(新年=Año Nuevo、母の日=Mother's Day、お盆=Day of the Dead)の3つについて調べ、描くことに決定。	祝日、行事についてのこちらから質問し、答えていただいたが、相手側からの質問を得ることができず、少々残念であった。	異文化理解
制作	12月	異文化理解の講座は3部にまたがるので、それぞれからリーダーを出し、原画を作成し各部で検討し、一つの原画に絞り込んだ。絵塗りは3部でリレー形式で行った。	・3つの祝日、行事を一つの絵として、まとめあげることに、苦労していた。 ・相手校に描いてもらうもののイメージも膨らませながらの、楽しい作業となった。	異文化理解
鑑賞	2～3月	・フォーラムにアップされたパートナー校での作成の様子を確認。 ・共同制作した絵の鑑賞とプロジェクト全体の振り返り。	・届いた完成品に一層感動し、また、パートナー校の色使いの美しさに目を瞠っていた。	異文化理解

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	日本の祝日、伝統行事を調べた際の生徒の反応
異文化の理解	A	5	JICA の出前講座での異文化疑似体験ゲームの後に交流を始めたが、相手国の文化をよく理解しようという姿勢がよく見られた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	4	伝える相手がいるため、苦手な場合も英作文に努力していた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	3	インターネット以外の方法の模索がやや足りなかった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	リーダーチーム作りおよび、ポスターセッションでの発表での協力体制。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	各講座内での絵塗りのも、講座間でリレーしていったことも、ともに協働の精神の育成に資した。
学習を追究する意欲	B	4	日墨の祝日行事の共通点、相違点を深いところを探し求めようとする姿勢が見られた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	得手不得手を超えて、一筆でも協力しようという気持ちは伝わった。
作品を鑑賞する力	B	3	完成品を見て、相手校への thank you letter に取り組ませたが、時間切れになった生徒もいた。